



第5回定例会

一般質問

 大竹市議会YouTube

名前横の時間はyoutubeの動画の一般質問開始時間です。



5名が登壇

大竹市議会だより 紙面WEBアンケート募集中

広報広聴特別委員会では、見やすくわかりやすい紙面づくりに取り組んでいます。紙面づくりの参考にさせていただきます。ご意見をお待ちしております。



アンケートは
こちらから▶



【11月27日】

岡 和明

(3:46~)

- 亀居城の荒廃と交通事故の因果について
- 年々悪化するツル性植物クズの繁茂対策を

細川 雅子

(41:52~)

- 学校選択制の評価について

日域 究

(1:41:49~)

- 不登校の解決策
- 新町ポンプ場計画を見直しませんか

中野 友博

(2:55:04~)

- 大雨時の浸水・冠水対策と下水道の将来像について

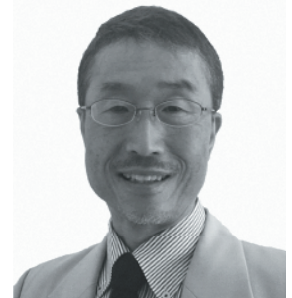
西村 一啓

(3:53:18~)

- 市内に設置が計画されている砂防堰堤と、工事用道路の利用方法等や道路整備計画全般について問う

問

亀居城の荒廃と 交通事故の因果について



おか かずあき
岡 和明

先日、亀居城そばの玖波青木線で、自動車とイノシシの事故の瞬間に居合わせました。私の横を走っていた軽乗用車が大きな衝突音とともに急停止。その車は前部が壊れ、イノシシは路上で虫の息でした。同じ地点で3年前、私の家族が同様の事故発生の瞬間を見えています。

答
昨今、イノシシやクマガイの生活圏に侵入し被害が起きることが全国的に問題となっており、本市でも、対応に苦慮しています。亀居公園は、亀居城跡のあった小山を、市民の憩いの場として活用するために公園として整備したもので、整備前は、個人や企業の所有する雑木林であったと聞いています。したがって、山裾周辺は、民間所有の雑木林もあり、市が管理することは大変困難です。一方で、公園として整備した区域の維持管理は、日常のトイレ清掃、サツキやツツジといった低木の剪定作業に加え、今年度は、除草回数も2回から3回へ増やし、多くの人が訪れる桜の時期、新緑の時期、紅葉の時期に実施しました。また支障のある大きくなった樹木の剪定や枯れ枝等の伐採は、随時実施しています。引き続き亀居公園の魅力が損なわれることのないように、適切な維持管理に努めます。



駆けつけたパトカー、青木線の峠地点

一般質問のうち、議員が市政の課題を自由に選んで、本会議で市長に見解を聞く。議員一人の持ち時間は30分もしくは60分なれど。



ほそかわ まさこ
細川 雅子

学校選択制の評価について

問

学校選択制が導入されて20年が経過しました。多様なニーズに応える、特色ある学校づくりが可能となる等の効果が期待されていましたが、近年、全国的には学校間格差や地域とのつながりの希薄化、通学負担の増大などを理由に、制度を見直す自治体も増えていきます。玖波中学校においては、学校選択制のもとで「選ばれた学校」としての競争にさらされ、厳しい状況にあります。そこで質問いたします。

①期待された効果について評価を。

②小規模校の存在意義。

③小規模校の教育環境を維持・充実させるための支援策は。

④学級支援員の増員についてのお考えは。

⑤特色ある学校づくりの支援に、「特色ある教育活動支援事業」を復活させるお考えは。

答

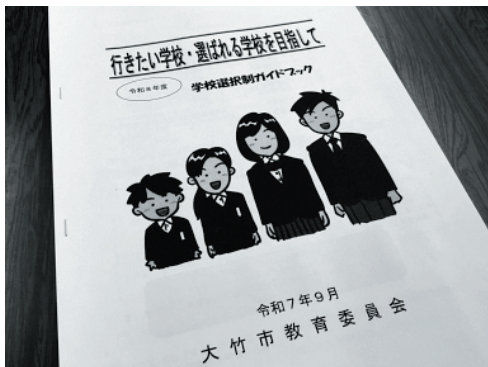
①様々な課題はあるものの、各学校の熱心な取組や地域との連携などにつながっており、概ね達成できていると考えています。

②児童生徒一人一人へのきめ細かな対応ができることや、地域との連携がしやすいといった、小規模校のメリットを最大化した教育の充実に努めることです。

③児童生徒にとって最も望ましい教育環境とは何か、という視点をもって、学校としっかり状況を確認しながら、引き続き学習環境の改善に努めます。

④これまでと同様に、学校の課題やそのときの児童生徒の状況を確認しながら配置します。

⑤現在は学校に配当する形で必要な予算を確保しており、以前のような特色ある教育活動支援事業としての予算計上は考えていません。



学校選択制ガイドブック

不登校の解決策



じついき きわむ
日域 究

問

昔、小学校時代の休憩時間って楽しかったですよ。友達との遊びなど自然に覚えました。今の子は長時間保育などの影響か、子ども同士で遊ぶ経験が足りません。そのため学校の休憩時間に疎外感を感じるのが原因かもしれません。校庭の放課後解放を始めるために、遊ぶ場所の充実を図ってみませんか。

答

公の立場として、これからの時代、安全が絶対条件として必要であり、大人たちが子どもの自由な発想や挑戦を尊重しながら遊びを見守っていくことが大切と考えています。

子どもの遊ぶ場所をつくることは学校や教育委員会だけでなく、市全体、地域、保護者が遊びの価値を認識し、取り組む必要があります。

問

新町ポンプ場計画を見直しませんか

この計画は49年間も進展しません。水路に傾斜がなく、完成しても満足に水が流れないことが分かっているからではありませんか。発想を変え、水路の水を動力で押し流すことを考えませんか。雨量が増えても対応可。潮遊池まで流せば大きなポンプがあります。

答

勾配0.2パーセントのバイパス管路を整備する現計画で、問題はないと考えています。新しい工法があれば、それが有効であると判断されれば、それに向かって変えていくことも可能であると考えています。



鯉が泳ぐ春日通りの水路



なかの ともひろ
中野 友博

大雨時の浸水・冠水対策と 下水道の将来像について

問

近年、線状降水帯など短時間で激しい雨が降る事例が増え、市内でも道路冠水や宅地への浸水が繰り返されています。また、市として浸水・冠水に対する本音が抱える課題、その対応についての現状の考え方について伺います。

また常襲箇所をどのように把握し、市民からの通報内容をどのように整理して大雨時の対応に生かしているのか伺います。また、市民からの情報をもとに大雨発生後は市としてどのような取組をされていますでしょうか。重点箇所や対応すべき地区についての考えをお伺いします。

さらに、老朽化が進む下水道施設の更新と、浸水対策をどのような優先順位で進めていくのか、今後の投資計画をどのように描いているのか伺います。

最後に、将来の維持管理を見据えたウォーターPPPの活用について、市としてどのような方向性を持って検討を進めているのか、お伺いします。

答

大雨が発生した際、災害対策本部設置時には被害情報等は本部に集約され、事後に対応状況等を整理しています。平時は市民や自治会等からの通報・相談、消防・警察からの連絡をもとに、該当箇所のパトロールを行っています。

重点地区等は定めていませんが、過去に浸水・冠水した地区では、大雨時、大雨後のパトロールや、地域の方等に状況の聞き取りを行っています。

下水道施設の更新や排水ポンプ場整備等の事業は、規模が大きくなり、時間もお金もかかります。公共下水道事業全体のバランス、既存事業の完了時期、財政面を考慮し、実施体制を整えた上で、計画的に進めていく必要があります。

一方で、浸水・冠水が生じている箇所の改善に向けた、既存の水路等の改良工事も進めていきます。

ウォーターPPPの導入は今年度、可能性調査を実施していますが、市民サービスの安定性を最優先に考えて、慎重に検討します。



2025年9月10日大雨時の立戸地区



にしむら かずひろ
西村 一啓

市内に設置が計画されている砂防堰堤と、工事用道路の利用方法等や道路整備計画全般について問う

問

①油見地域住民から要望が出ている油見地区に計画されている砂防堰堤工事に関わる取付作業用道路の利用の整備や完成後の利用方法について、今後はどのように対応するのかお伺い致します。

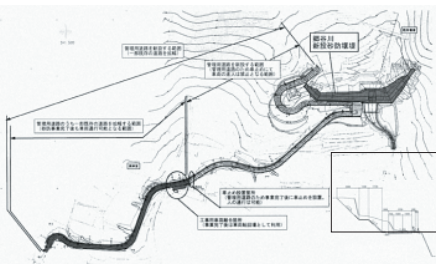
②市内にあります市道の道路整備全般や水路の整備について、今後の対応や計画など、本市は今後どのように取り組む、整備補修計画等はあるのかお伺い致します。

答

①県が油見地区の郷谷川の砂防事業を進めており、砂防堰堤建設予定地まで工事用道路の整備が計画されています。通常、工事用道路は、工事で必要となる最小限の幅員を確保しますが、現在、生活道になっている部分は、転回広場やガードレール等、地元的生活道としての利便性、安全等に配慮し

た計画となるよう県と協議していただきます。また、事業完了後、砂防堰堤の管理道路部分は、通常、通行止めになりますが、災害発生時に、消防車等の緊急車両が通行できるように協議しています。

②本市では「舗装の個別施設計画」を策定して、経年劣化により舗装が悪くなった道路を、計画的に舗装改修や白線のひき直し等を行い、通行の安全性を向上させています。また、通学路については、教育委員会が策定した「大竹市通学路交通安全プログラム」により、毎年度、警察等関係者で合同点検を行い、通学路安全推進会議に諮り、対策工事等を実施して安全性を向上させています。水路については、自治会等からの指摘・要望があった箇所について、関係者と状況の聞き取りや現地の確認を行い、安全柵の設置や側溝に蓋をする等、必要な対策工事を行っています。今後も自治会等の要望を伺いながら一歩一歩事業を進め、市民の安心・安全につながるよう努力します。



油見砂防堰堤整備計画図面